

技術士包装物流会関西支部 福喜多俊夫

<中国 EV 情報 68>では 2016 年 5 月に入手した中国政府諸部門やマスコミからの新エネルギー車、EV 情報を記載します。

1. 中国で水素燃料のハイブリッド路面電車開発

中国の西南交通大学と中車唐山公司の共同研究・開発による水素燃料ハイブリッド路面電車がこのほど正式にラインオフした。同大が明らかにしたもの。（新華網 5 月 3 日）

2. G20 杭州サミット、新エネ車の需要を喚起

浙江省杭州市では新年早々、多くの路線バスの車両が BYD 製の純電気バスに換わった。新車両は旧車両に比べ、青々として美しい外観だ。車内は明るく、騒音も少ない。

2016 年の主要 20 カ国・地域（G20）首脳会議は、9 月 4・5 日に浙江省杭州市で開かれる予定。杭州市は新エネルギーバス、首脳会議用車両、通勤用車両それぞれ 500 台、純電気タクシー、環境衛生車、物流運送車両などの準備も予定している。今回の G20 サミットを契機に、杭州市は新エネルギー自動車の普及とグリーン都市の建設を加速し、今年は新エネ車 1 万台以上の投入を計画している。

「新エネ車導入の加速化は、G20 杭州サミットの環境整備だけでなく、杭州をグリーン都市とすることが狙いだ」と、杭州市新エネルギー自動車発展応用指導チームの関係者は語る。杭州市はすでに新エネ車 2 万 2131 台を導入し、上海と北京に次ぐ普及台数となっている。（中国網 5 月 20 日）

3. 樂視網、北京でカーシェア EV を活用

中国のインターネット動画配信大手、樂視網信息技術は、会員制で複数の人が車を共有するカーシェアリングサービスに乗り出した。第 1 弹として北京で 60 台の電気自動車（EV）を活用して始めた。年内には 3 千台を配備して、上海や広東省深圳、四川省成都など 6 都市でも展開する計画。走行中に大気汚染物質を排出しない EV を使うことで、大気汚染問題の軽減にもつながりそうだ。EV は比亜迪、奇瑞汽車、北京汽車、吉利汽車とすべて中国製を使用する。（日経 5 月 25 日）

以上